

上田市教育委員会 5月定例会会議録

1 日 時

平成 21 年 5 月 18 日 (月)

午後 2 時 30 分から 3 時 20 分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	生田千鶴子
委 員	春原 秀一
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

小市教育次長、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、石井生涯学習係長、澤山人権同和教育政策幹、滝沢文化振興課課長補佐、細川体育課長、清水丸子地域教育事務所長、荒井真田地域教育事務所長、西沢第二学校給食センター所長、山寄城南公民館長、大滝上田情報ライブラリー館長

<協議事項>

- 1 平成21年度上田市心身障害児就学指導委員会委員の補充委嘱について
資料1により中村学校教育課長説明

全委員 了承

<報告事項>

- 1 上田市における小・中学校の新型インフルエンザ対策について
資料2により中村学校教育課長説明

金子委員

学校に関する判断は県教委の責務か。

中村学校教育課長

学校の休校等は市町村の判断である。ただし、上田市だけで行なっても効果が限られるので県の指示、状況報告を受けながら上田市として判断するということになる。

金子委員

今上田市で発生してもおかしくない状況である。具体的に今日出たらどうするかを考えておいた方がいい。

中村学校教育課長

上田市には昨年作成した新型インフルエンザ行動計画がある。これは鳥インフルエンザ等の強毒型を想定した行動計画であり、これによると国内で発生した場合かなりの規制が出てくる。現在国も県も行動計画より緩めた対応をしており、市においても健康推進課と危機管理室で対策本部を立ち上げ見直しを進めている。

西田委員長

学校関係の対策についての概要を教えてほしい。

中村学校教育課長

これは強毒型インフルエンザを想定した行動マニュアルで学校を含め上田市全課で作成してある。新聞報道ではフェーズ4とかフェーズ5という言い方をしているが、行動マニュアルは、発生前期、海外発生期、国内(県内)発生期、大流行前

期、大流行期という区分けをしている。鳥インフルエンザの場合は強毒性であるので国内・県内の区別はない。海外発生期は国・県・保健所から情報収集をして各学校、各施設へ情報提供を行う、イベント等の中止を要請するタイミングの検討をする、各学校、各施設に感染予防のための物資（マスク、消毒剤等）の備蓄状況を確認する等が定められている。国内・県内発生レベルになると関係団体等へ行事自粛の要請を行なう、流行地域への出張・私事の用事等の中止及び延期の判断を行う、施設の閉鎖の検討、部活動の対外試合の中止、感染が疑われる児童生徒に対する出席停止等の判断を行なうというようになっている。今回は、これを緩めて対応することになると思う。

春原委員

春先に通常のインフルエンザが流行ったと聞いたが今はどうか。それとの混同は有り得ないか。

中村学校教育課長

詳細データはないが、先日菅平中学校で修学旅行へ行く話があったが、インフルエンザ感染者が20人中5人出たということで医者と相談し前日中止になったという報告があった。3月末まで通常インフルエンザのカウントを取っていたが今は止めている。現在季節型、新型の両方を再度行なうように考えている。因みに新型インフルエンザは、簡易検査と詳細検査の2段階を経て判るということである。

西田委員長

いたずらに騒ぎ過ぎるのも問題であるが、学校現場では実際に発生した時の迅速な行動が大事である。準備もしっかりやっておいてほしい。

2 図書館学習会について

資料3により石井生涯学習係長説明

春原委員

“2背景”に「その運営状況を評価し、その結果をもとに改善する」と掲げて、“3目的”に「図書館の現状を知り」とある。運営状況を評価して3番が出てきたと受け止めてよいか。今までの図書館運営の状況を評価した時にどんな課題が出ているか教えてほしい。

石井生涯学習係長

今回の学習会は、図書館法の改正により運営状況を市民に伝え、その中で新しい

図書館のあり方を探っていこうというものである。学習会では国、県から出されている方針も学びながら、図書館ではどんなことがされているか、市民活動の状況はどうか等について知ってもらい、より良い図書館づくりのために市民協働というものがどういう形になっていくか皆で話し合っていこうというものである。

春原委員

昨年度中は評価していないのでこれから評価する、情報を提供しながら評価していくと受け止めていいか。

大滝情報ライブラリー館長

図書館の評価はこれからであるが何を指標とするかを含め非常に難しいものである。今回の学習会では図書館とはどういうものか、地域の一部の方々が利用している図書館もあれば、県立図書館のように学生の自習学習は禁止している図書館もある、市立図書館のように老若男女問わず利用者の条件に応えられるように一定の条件の下で自習学習の利用を認めている所もある。まず現状を知ってもらい、新しい図書館づくりのために市民の皆さんがどういう形で携わっていただけるかのヒントを掴んでもらいたいと考えている。

春原委員

理解した。運営状況の評価ということでこれからが大事。このような学習会は本年度が初めてか。

大滝情報ライブラリー館長

図書館についてのこれまでの学習会は、単発的に地域の中でどういう図書館にしていくかの学習会、あるいは情報交換会という形で行なわれていた。今回のように全市的に行なうのは初めてである。

金子委員

今回の学習会は実態把握の位置付けがある。今後につなげていくためにこの学習会の成果を何らかの形で公表するのか、あるいは途中で調査等をして形に残していくのか、それを今後どのように生かしていくか等の見通しはあるか。

大滝情報ライブラリー館長

生涯学習課や実行委員会の中でも検討している。それぞれの学習会の最後に意見交換の時間を取りたいと考えている。毎回意見をいただいている。その場で結論が出るものもあるが、来年1月23日まで学習会を行なった上で総括としてまとめる

部分もある。学習会の結果は何らかの形で出していきたい。

小山教育長

図書館にどういう機能を持たせるか、市民の方がどういう機能を求めているか、その機能を果たしているかと言った点に対して評価が行なわれる。行政側としても図書館にこういう機能を果たしてほしい、こういう機能を持たせたいというものがなければいけない。真田図書館を造るにあたって真田地域では議論されてきたはずであるからそれを資料提供した上で議論することが大事である。

生田委員

学習会は土曜日に開催されるようになっているが、小さい子どもを持つ母親が参加するのに託児施設があると利用し易いのではないかと。また、活字離れと言われていたが、活字が楽しいと子ども達に伝えることが大人になっていく上で大きな鍵になると思う。活字に触れることの楽しさ、大切さをお母さん、お父さんに実感してもらえそうな試みがあると夢が持てるのではないかと。

大滝情報ライブラリー館長

育児施設の関係については現段階では予定していない。活字離れの件に関してであるが、今回は様々な視点からの学習会であり直接的には取り入れられないが、図書館を実際に利用していただいたり、データベースを使う中で活字の楽しさを感じてもらえるよう活用してほしい。

3 行事共催等申請状況について

資料4 - 1 により石井生涯学習係長説明

金子委員

最後の5月9日はもう終わっているのか。

石井生涯学習係長

データの入力誤りである。6月27日に丸子文化会館で行なう予定である。

西田委員長

教育委員会が共催したということなので後で結果を報告してもらえたらありがたい。

小山教育長

代表が中沢さんかどうかを確認すれば先ほどの資料との関係がわかる。

西田委員長

内容が違ふと思われる。後で確認し報告してほしい。

資料4 - 2 により滝沢文化振興課課長補佐説明

資料4 - 3 により細川体育課長説明

資料4 - 4 により中村学校教育課長説明

西田委員長

2件共過去に実績はあるか。

中村学校教育課長

長野朝日放送の件は初めてである。長野県選挙管理委員会の方は過去にも実績がある。

西田委員長

選挙管理委員会のポスター募集は上田でどの位集まるのか。学校もなかなか大変のようだが。

中村学校教育課長

個別に把握はしていない。

金子委員

学校訪問でこのような募集案件に関する美術の授業を見せてもらったが、具体的に指導する先生と特に指導しないで各自に任せている先生がいたが学校によるということか。

中村学校教育課長

教育委員会として特に指示はしていない。学校の判断でやってもらっている。

金子委員

申請者からも特に教諭向けの指導はないのか。

中村学校教育課長

それはない。

小野塚教育総務課長

共催等申請状況の関係資料の中で文化振興課の申請者氏名、行事の名称欄に誤りがあったので先ほどの生涯学習課のものと合わせて訂正版を作成し差し替えさせていただきます。

4 その他

石井生涯学習係長

平成 21 年度の“出前ときめきのまち講座”が出来上がった。毎年この時期にホームページ、広報やチラシ等でお知らせしている。今年度は 95 のプログラムがある。中身に関しては事前に改正の意向を各担当課に聞きまとめたものである。昨年度との変更点は分類がコミュニティー・自治、産業・経済、自然・文化、生活環境、福祉・健康、教育となっていることである。これは市の基本構想の表題に合せた方が分かり易いといことでこのようにした。昨年と順位付けが違っているのでご注意願いたい。毎年変わるので問い合わせの時混乱しないよう番号と講座名を確かめていきたい。

「90 命の学級」は小中高生が対象である。産院の方で担当してもらっているが昨年と同様の対応はできないと思われるので学校とは調整させてもらう。

生田委員

興味がある所へ電話をして講座を予約し、開催場所等は依頼者が設定するのか。

石井生涯学習係長

申込書が各担当課、施設、ホームページ等にあるのでそこに記載し、担当課、公民館等へ提出してもらう。会場等に関しては申請者をお願いしている。

西田委員長

以上で 5 月の定例会を終了する。